

畜産みやぎ

題字 宮城県知事 本間俊太郎

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井英一

定価 1部62円

印刷所 KK東北プリント



第9回牛削蹄競技大会 (古川家畜市場: 7月11日)

もくじ

指定助成対象事業について…… 2

酪農ヘルパー制度はじまる…… 4

系統豚ミヤギノの普及について…… 6

川崎町広域畜産環境対策事業について…… 7

第5回みやぎミルクランドフェアの

開催について…… 8

牧草地におけるムギダニの耕種的防除法の検討…… 9

鶏のサルモネラ感染症について……10

随想……10

指定助成対象事業について

宮城県畜産課

農業生産の長期安定的発展のために、生産及び消費双方の順長な伸びを阻害する価格の急激な変動を防止するために「畜産物の価格安定等に関する法律」が定められています。

この法律には、指定された畜産物（乳製品、加工原料乳、豚肉、牛肉、鶏卵など）の価格安定対策と畜産振興事業団の組織、業務など（この中に指定助成対象事業が含まれます）が規定されています。

畜産振興事業団は、最近では「LIPC」と横文字で呼ばれることもあります。この法律によって昭和36年に設置された特殊法人です。畜産振興事業団の業務は大きく分けて3つあります。

- (1) 主要な畜産物の価格安定
 - (2) 乳業者等の経営に要する資金の調達円滑化
 - (3) 畜産の振興に資するための事業に対する助成
- このうちの(3)の部分指定助成対象事業になります。

指定助成対象事業については、次のような目的があります。

- (1) 国が直接実施する補助事業としてはなじみがたい事業
- (2) 国の補助事業を補完、円滑化するための事業
- (3) 畜産をめぐる諸情勢の変化に対応して緊急に行う事業

事業の財源は輸入自由化前は輸入乳製品及び牛肉の輸入差益を原資としていましたが、現在は、牛肉等の輸入関税収入を特定財源とした国からの交付金を中心として措置されています。

助成を受けることができる団体は、全農などの農林水産大臣が定める全国連がほとんどですが、この団体の下部組織である県域団体（経済連等）を通じて間接的に補助を受けることができます。


これらの団体が実施する事業について畜産振興事業団が助成するものです。

県内で実施されている主な事業

事業名	事業の目的	事業内容																				
子牛生産拡大奨励事業	肉専用種繁殖経営における子牛生産拡大意欲の向上を図ることにより、牛肉生産の基礎となる繁殖雌牛頭数の拡大と経営の維持強化を図る。	① 子牛生産拡大奨励金の交付 四半期ごとの指定市場の平均子牛売買価格が35万円を下回った場合に、肉専用種雌牛頭数の増頭を行った事業参加者に対し、子牛1頭当たり2万8千円の拡大交付金を交付する。 ② 子牛生産奨励金の交付 四半期ごとの指定市場の平均子牛売買価格が32万円を下回った場合に、肉専用種雌牛頭数を維持した事業参加者に対し、子牛1頭当たり1万8千円の生産奨励金を交付する。																				
優良肉用牛資源有効活用推進事業	子牛価格が低落した場合、繁殖用雌子牛及び飼養放棄される成雌牛を農協等が買い上げ、規模拡大の意欲を有する者に貸付け等を行うことにより、肉用牛資源の維持・確保及び改良増殖の推進を図る。	繁殖雌牛保留促進対策 ① 雌子牛導入型 1頭当たりの購入助成額 県内 6万1千円（輸送費含む） 県外 6万3千円から7万2千円（導入距離に対応） ② 成雌牛導入型 1頭当たりの購入助成額 4万9千円（輸送費含む） 事業期間 平成3年度から平成5年度 家畜導入主体 農協、農協連、公社等																				
肉用牛産地拡大推進事業	繁殖雌牛の規模拡大、肥育仕向け雌牛の繁殖利用、双子生産技術の活用、経営内一貫生産方式の導入、放牧の活用等による肉用牛生産拡大のための生産集団の取組みを強化支援することにより、肉用牛生産基盤の強化・拡大を図る。	生産集団が次のような肉用牛生産拡大のための取組みを行う場合に必要となる経費の一部を助成する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組み</th> <th>対象牛</th> <th>1頭当たり単価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規模拡大</td> <td>繁殖雌牛</td> <td>4万円</td> </tr> <tr> <td>経営内一貫</td> <td>自家生産肥育牛</td> <td>2万7千円</td> </tr> <tr> <td>一産取り肥育</td> <td>肥育雌牛</td> <td>2万円</td> </tr> <tr> <td>双子生産</td> <td>受卵牛</td> <td>5万7千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放牧拡大</td> <td>放牧繁殖牛</td> <td>5千円</td> </tr> <tr> <td>放牧肥育牛</td> <td>3千円</td> </tr> </tbody> </table>	取組み	対象牛	1頭当たり単価	規模拡大	繁殖雌牛	4万円	経営内一貫	自家生産肥育牛	2万7千円	一産取り肥育	肥育雌牛	2万円	双子生産	受卵牛	5万7千円	放牧拡大	放牧繁殖牛	5千円	放牧肥育牛	3千円
取組み	対象牛	1頭当たり単価																				
規模拡大	繁殖雌牛	4万円																				
経営内一貫	自家生産肥育牛	2万7千円																				
一産取り肥育	肥育雌牛	2万円																				
双子生産	受卵牛	5万7千円																				
放牧拡大	放牧繁殖牛	5千円																				
	放牧肥育牛	3千円																				
肉用牛肥育経営安定緊急対策事業	牛肉輸入自由化に伴い、牛肉枝肉価格の低下による肉用牛肥育経営の収益性の一時的な悪化が懸念され、牛肉生産全体が停滞する恐れがあることから、肥育経営を継続するのに必要な経費を軽減するために助成し、もって肥育経営の安定的な維持発展を図る。	肥育牛1頭当たりの四半期平均推定所得が、販売価格の低落等により、家族労働日を下回った場合、その後の経営を継続するのに必要となる素畜導入等の経費を軽減するための助成を行う。 肉専用種肥育牛：導入牛1頭当たり 2万円 乳用種肥育牛：導入牛1頭当たり 1万円																				

事業名	事業の目的	事業内容																				
畜産環境整備リース事業	畜産環境整備リース協会が家畜ふん尿処理機械、悪臭防止機械装置、気密サイロ、飼料作物収穫調整機械などを購入し、畜産農家またはその団体に一定期間貸付けた後、譲渡することによって、家畜飼養環境の改善を図る。	畜産環境整備リース協会は、県内3つの借受け団体（生乳販連、経済連、飼料基金協会）を窓口として、再借受者である農協を通じて、機械導入を希望する農家に対して一定期間貸付けた後、譲渡する。 基本貸付料（元本） 購入価格から残存価格（10%）を差し引いた額を年賦で納入 付加貸付料（利息） 未払い基本貸付料に対し年5%（団体の共同利用の場合3.5%）を納入 譲渡代金 期間満了による最終回貸付料納入3ヶ月後に残存価格（10%）を納入し、譲渡される																				
大家畜経営体質強化資金特別融通助成事業	大家畜経営の中で、借入金の償還が困難な経営に対し、経営の安定・合理化を図るため、財務管理指導の徹底と相まって、既貸付金の条件緩和等の措置とともに長期低利資金の融通を行う。	貸付要件（個人の場合・頭数規模） <table border="1"> <tr> <td>経営種類</td> <td>家畜の種類</td> <td>一般</td> <td>特認</td> </tr> <tr> <td>酪農</td> <td>乳用成雌牛</td> <td>15頭</td> <td>25頭</td> </tr> <tr> <td>肉用繁殖</td> <td>繁殖雌牛</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>肉専肥育</td> <td>肉専肥育牛</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>乳用肥育</td> <td>乳用肥育牛</td> <td>15</td> <td>30</td> </tr> </table> 貸付期間 昭和63年度～平成4年度 償還期間 15（特認20）年以内 うち措置期間 3年以内 末端貸付利率 5.0（特認3.5）%以内 融資機関 農協、農協連、知事指定銀行等	経営種類	家畜の種類	一般	特認	酪農	乳用成雌牛	15頭	25頭	肉用繁殖	繁殖雌牛	5	10	肉専肥育	肉専肥育牛	10	20	乳用肥育	乳用肥育牛	15	30
経営種類	家畜の種類	一般	特認																			
酪農	乳用成雌牛	15頭	25頭																			
肉用繁殖	繁殖雌牛	5	10																			
肉専肥育	肉専肥育牛	10	20																			
乳用肥育	乳用肥育牛	15	30																			
養豚経営安定資金特別融通助成事業	養豚経営の中で、借入金の償還が困難な経営に対し、経営の安定・合理化を図るため、財務管理指導の徹底と相まって、既貸付金の条件緩和等の措置とともに長期低利資金の融通を行う。	貸付要件（個人の場合・頭数規模） <table border="1"> <tr> <td>経営種類</td> <td>家畜の種類</td> <td>一般</td> <td>特認</td> </tr> <tr> <td>繁殖経営</td> <td>繁殖雌豚</td> <td>30頭</td> <td>45頭</td> </tr> <tr> <td>肥育一貫</td> <td>肥育豚</td> <td>300</td> <td>450</td> </tr> </table> 貸付期間 平成元年～平成4年度 償還期間 7（特認10）年以内 うち措置期間 3年以内 末端貸付利率 5.0（特認3.5）%以内 融資機関 農協、農協連、知事指定銀行等	経営種類	家畜の種類	一般	特認	繁殖経営	繁殖雌豚	30頭	45頭	肥育一貫	肥育豚	300	450								
経営種類	家畜の種類	一般	特認																			
繁殖経営	繁殖雌豚	30頭	45頭																			
肥育一貫	肥育豚	300	450																			
畜産経営体質強化緊急特別指導事業	総合農協、専門農協、畜産会等が一体となって、先進的な畜産経営技術等の普及・啓蒙指導を行うとともに、農協段階で特別指導班を編成し、経営・財務管理の面で体質の弱い個別経営の実践的指導を行うことにより、畜産経営の体質強化を図る。	① 生産経営技術向上対策 優良経営の実態調査、分析及び経営改善発表会等を実施するとともに、それらに基づき、先進的経営事例及び指導資料等を整備して啓蒙指導に活用する。 ② 経営・財務管理指導対策 農協段階に専門家を中心とした特別指導班を編成し、経営簿記帳から損益計算書、貸借対照表、経営計画等の作成指導を行うとともに、それらに基づき、具体的な収益性向上のための経営技術の改善指導を行う。 地方段階において、農協指導員の研修等を通じて、経営・財務管理を中心とした農協等の経営指導活動に対し支援及び実践的指導を行う。																				

(畜政係：伊藤 紳)

<p>動物用 (牛専用) 医薬品</p> <h1>トルラミックス</h1> <p>特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合</p> <p>株式会社 トーシン</p> <p>古川市古川字上古川屋敷9番地の1 TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)</p>	<p>今年のエ・カの駆除は</p> <p>くみあい</p> <h2>アルファクロン</h2> <p>—持続性殺虫力—</p> <h2>シューバン乳剤</h2> <p>—即効性殺虫力—</p> <p> 農協・宮城県経済連・全農</p>
--	---

酪農ヘルパー制度はじまる

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

酪農ヘルパー制度アンケート調査結果については、すでにお知らせしておるところですが、本制度の基本的事項が確定し、すでに一部地域で、ヘルパー利用組合が設立され、稼働を開始しています。

1 基本的事項

(1) 酪農ヘルパー利用組合構成

宮城県生乳販連がヘルパー制度の事業主体となり推進するが、ヘルパー利用組合の設立にあたっては、地域性を考慮し酪農組合間を越えた酪農家20～24戸で1利用組合を構成する。

利用組合の事務局は、生乳販連会員の酪農協にお願いする。

(2) ヘルパー利用料金

ヘルパー利用料金は、利用農家の飼養頭数規模に関係なくヘルパー2名を原則に、夕朝の作業をもって1日とする。但し日曜、祭日、盆3日間、年末年始の5日間はヘルパーの休日とする。

県統一料金の設定(1日当り)

- ・基本料金……………12,000円
- 搾乳牛1頭当り…… 500円
- その他1頭当り…… 150円

例ば

- 搾乳牛10頭、その他5頭の場合……17,750円
- ” 20頭 ” 10 ” ……23,500円
- ” 30 ” 15 ……29,250円

・日曜祭日利用の場合(ヘルパー利用組合員に限り)

- 基本料金……………18,000円
- 搾乳牛1頭当り…… 500円
- その他1頭当り…… 150円

・利用組合員外が平日利用した場合

- 基本料金……………22,000円
- 搾乳牛1頭当り…… 750円
- その他1頭当り…… 230円

の3通りの料金体系を生乳販連が設定し、ヘルパー

の出役日程調整は、ヘルパー利用組合が行う。

(3) ヘルパー職員

ヘルパーは生乳販連の嘱託職員に採用し、各種保険制度の下に身分保証をおこない、所定の技術研修後に、ヘルパー1人に1台専用車を貸与の上、ヘルパー利用組合に派遣する。

職員の採用は、利用組合地域内を原則としていますが、それ以外の方でも希望する方はぜひ、生乳販連または事務局組合までご連絡をお願いします。

(4) 事業運営経費

ヘルパー制度の運営費は、国県及び生産者で造成する酪農ヘルパー基金の果実及びヘルパー利用料金で運営する仕組みになっています。基金は平成2～4年にかけて、3.5億円を造成する計画で、すでに積立を始めています。利用組合に対する補助金として、約100万円果実の中から交付され組合運営経費に当てることになっています。またヘルパー職員の給料手当及び車の減価償却、保険料等は、利用料でまかなうことになっております。

2 ヘルパー利用組合設立状況

前記の基本的事項にそって、平成3～5年度にかけて、県内に15利用組合を設立する計画で取り組んでいるところですが、今年度は表-1の通り5組合が設立されました。現在ヘルパー職員6名採用(うち女性3名)し、研修後にヘルパー利用組合でヘルパー業務についています。

ヘルパーの人数不足から、一部の利用組合では、酪農組合や後継者の協力で事業を推進している状況であり、ヘルパー制度の拡充にあたっては、ヘルパー職員の確保が重要であります。

本会及び酪農協で職員の急募をしていますが、なかなか良い人材を確保できません。

平成4年以降に10組合を設立したいと考えているので、皆さんのご協力をお願い申し上げます。

(指導課 佐々克仁)

正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449-50

動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市青葉区上杉3丁目3-8

東北獣医薬品株式会社

TEL (25) 7330・7338・7339

仙台営業所 仙台市青葉区上杉三丁目3-8

022 (225) 7338-9

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

0229 (34) 2018-9

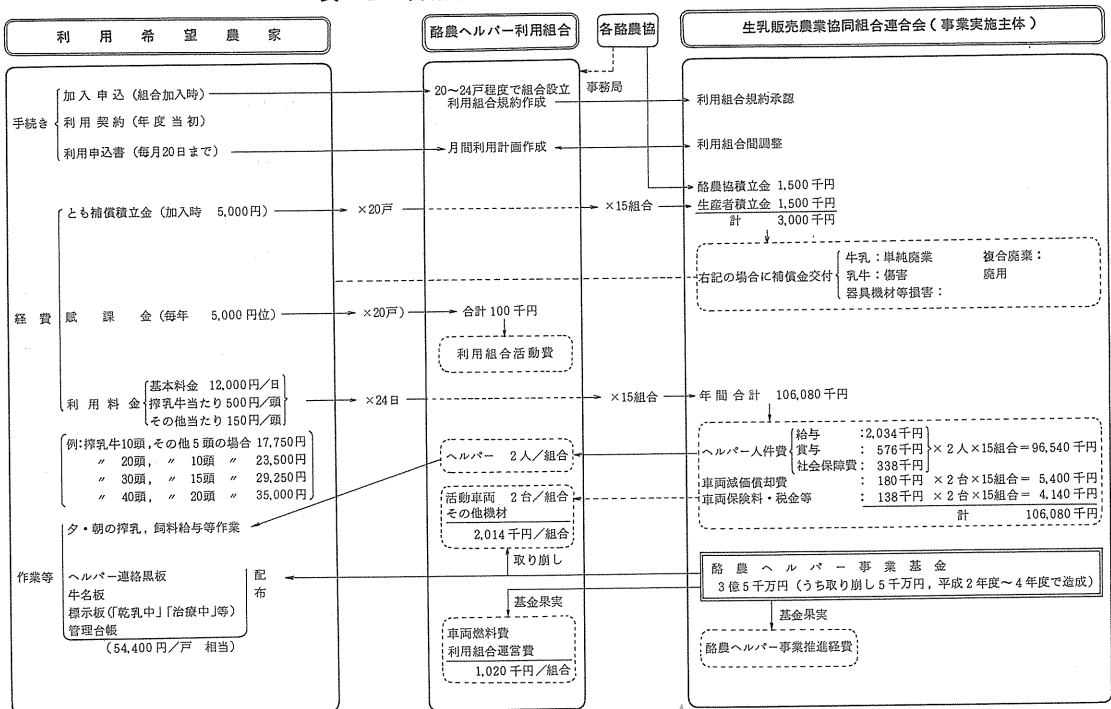
仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗1

0220 (22) 2278

表-1 設立酪農ヘルパー利用組合

酪農ヘルパー利用組合名	構成戸数	地域内市町村名	構成酪農組合名	担当事務局
伊具地区酪農ヘルパー利用組合	24	丸森町, 角田市	宮城酪農	宮城酪農伊具集乳所
宮城県北第1酪農ヘルパー利用組合	22	金成町, 築館町, 一迫町 高清水町, 瀬峰町, 中新田町 岩出山町, 迫町, 鶯沢町	宮城酪農, 宮城県酪連	宮城県酪連
宮城県北第2酪農ヘルパー利用組合	23	鹿島台町, 豊里町, 古川市 大和町, 河北町, 大衡村 大郷町, 涌谷町, 南郷町	宮城酪農, 宮城県酪連 仙台酪農, 遠田酪農 県経済連	宮城県酪連
宮城県北第3酪農ヘルパー利用組合	29	鳴子町, 岩出山町, 古川市 中新田町, 宮崎町, 花山村 一迫町	宮城酪農, 宮城県酪連	宮城酪農岩出山集乳所
宮城県北第4酪農ヘルパー利用組合	22	色麻町, 小野田町, 宮崎町 中新田町, 岩出山町	県経済連	中新田町農協

表-2 宮城県における酪農ヘルパー制度の概要



WORLD カボク **サンシャイン**

株式会社 **五十嵐商会**
 仙台市若林区卸町五丁目1番地4
 電話 (022) 236-2525 (代表)

EISHIN クスリの総合卸

株式会社 **エーシン**

取締役社長 山田 修 造

本社 (畜産課) 仙台市若林区卸町2丁目10-3
 ☎(022)284-8111 F A X (022)284-8127
 古川市福浦字道の上137-1 ☎(0229)24-1211

系統豚ミヤギノの普及について

宮城県畜産課

発育性、産肉性に優れ、斉一性の高い宮城の銘柄豚を確立するため、県では昭和58年度から県畜産試験場でランドレース種の系統造成に着手、平成元年度末をもって完成し、「ミヤギノ」と命名されたことは皆さんもご存知のことと思います。県としては、このミヤギノを養豚振興の柱として位置づけ、その効率的な利用により養豚経営の安定化を推進していきたいと考えております。

系統豚の最大のメリットは能力・形質の斉一性にあります。また、高い能力を最大限に発揮していくためには最適の交配様式及び飼養方法による組織的な生産に対する取組みが必要となります。県では畜産試験場で実施した組合せ検定の結果に基づき、ミヤギノを基礎母豚に全農で造成したゼンノーW01(W)及び国で造成したサクラ201(D)による系統間交配のLWD三元交雑種により、高い生産性と高品質化を実現し、銘柄化を図っていく方針です。飼養方法についても飼養管理マニュアルを作成し、研修会の開催等を通じ、その普及を図っていくこととしています。

現在、県では、養豚関係の団体及び養豚関係者の代表により、宮城県系統豚利用推進協議会(会長:宮城県経済連会長星長蔵・平成元年11月設立)を組織し、ミヤギノの秩序正しい普及を図っているところです。系統豚の利用普及に当たっては、系統豚を初めから県内全域での飼養ではなく、地域内一貫生産を行う特定の地域生産組織を優先させる拠点主義をとることであります。地域内一貫生産には、まとまった頭数で肉豚出荷ができること、指導の実施がしやすいこと、外部からの伝染病の侵入を最小限に抑え得ることなどの利点があります。このような拠点の数を徐々に増やしていくことにより、県内の系統豚利用を伸ばしていく方針です。

上記の基本理念に基づき、系統豚の配布に当たって

は、系統豚利用地域生産組織は協議会の認定制とし、①地域として一元的な生産体制が確立していること、②生産物の品質向上と斉一化を図り、銘柄化による有利販売を組織として確立すること、③経営指導、飼養管理マニュアル指導専任者を置くことをその認定条件としています。平成3年度は17団体が認定を受けています。

系統豚の供給は平成3年3月に完成した宮城県経済連「ミヤギノGGPセンター」を中心として行われることとなります。同センターはミヤギノの維持・増殖を行うほか、ゼンノーW01、サクラ201の増殖を行っており、平成3年度のミヤギノの供給頭数は160頭を見込んでおります。供給頭数が少ないことから表に示した8地域生産組織に配布される予定で、すでに8月には米山町農協に初配布が行われました。平成4年度からは同センターの生産も軌道に乗り、ミヤギノ400頭の供給を見込んでいます。

平成5年度にはミヤギノをベースとした銘柄豚肉が食卓に届くことになり、消費者にはヘルシーでおいしい肉を提供してくれるものと今からその成果が期待されるところです。

(家畜改良係 鹿野 裕志)

平成3年度ミヤギノ配布計画

	地域生産組織名	利用形態	配布計画頭数
1	米山町農協	LDW生産	60
2	若柳町豚銘柄確立推進協議会	LDW生産	30
3	豊里町ミヤギノ利用推進協議会	LDW生産	10
4	石巻地区系統豚利用生産組合	LDW生産	10
5	矢本地区系統豚利用生産組合	LDW生産	10
6	古川市農協系統豚利用推進協議会	LDW生産	20
7	ミヤギノポーク栗原生産組織	LDW生産	10
8	白石市農協養豚部会系統豚利用推進協議会	LDW生産	10
	総計		160頭

畜産の健康と未来に貢献する
 獣医薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
 TEL 0198 664151(代)

古川営業所 宮城県古川市稲葉字大江向179-1
 TEL 0229 238888(代)

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所
 盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所
 大船渡営業所 横手営業所 山形営業所
 酒田営業所 福島営業所

より豊かな明日の農業のために

STAR

頼もしい働き者
 牧草梱包稲わら梱包に!!

Mr1000 Mr2000DX
 Mr3000DX, Mr4000DX

ハーベラーTHB2020

スター農機株式会社 仙台営業所

985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573
 FAX 367-4846

川崎町広域畜産環境対策事業について

宮城県畜産課

1 はじめに

家畜のふん尿は、堆肥化することにより有機肥料として地力の維持向上に不可欠なものですが、適切に処理されなければ悪臭、害虫発生、水質汚濁等の環境汚染を引き起こす原因となります。

畜産経営に起因する環境汚染は、畜産の安定的な発展を図る上で解決して行かねばならない問題であり、特に湖沼等閉鎖性水域の周辺地域においては極めて重要な課題です。

この課題解決に向け、柴田郡川崎町で実施した家畜ふん尿処理対策の概要について、記述します。

2 事業実施の経緯

川崎町では乳用牛1,190頭、肉用牛3,710頭のほか中小家畜も多数飼養されており七ヶ宿町、白石市、蔵王町とともに蔵王山麓に広がる畜産地帯を形成しています。この川崎町にある釜房ダムは、仙台市及び周辺市町の上水道等の水源として昭和45年に完成しましたが年々水質が悪化し、環境基準が確保されていないため(表1)早急な改善対策の必要に迫られていました。

一方、釜房ダム湖の上流域では家畜が多数飼養されており、畜産農家のふん尿処理実態は堆肥舎等の処理施設を持たない「野積み」状態が8割近くを占め、この野積み堆肥から出る汚水が釜房ダム湖の水質悪化の一因であるとされました。

昭和62年に釜房ダム湖が湖沼水質保全特別措置法の指定を受け、県は同法に基づき湖沼水質保全計画を策定。この計画の中で畜産については、家畜ふん尿処理施設の整備を進め、堆肥の野積み等を解消し、畜産経営に起因するダム湖水の汚染を防止することとしました。

これを受けて畜産農家、町及び関係機関の協力の下に川崎町農業協同組合が事業主体となり、広域畜産環境対策事業に取り組みました。

3 事業概要

事業は平成元年度から2ヶ年で実施され堆肥舎23棟、強制発酵処理施設6棟、尿処理施設1棟の建設整備のほか、家畜ふん尿の処理、堆肥の農地還元等に必要な機械32台を導入しました。

畜産農家は、整備されたこれら堆肥舎等に家畜ふん

尿を搬入し、ローダーで切り返しをします。これにより野積み堆肥に起因する汚水流出をなくすとともに、良質な堆肥が生産されます。この堆肥の4割は自家農地還元等に、6割は袋詰等をして流通していく計画です。

4 おわりに

家畜ふん尿の処理については、畜産農家が自らの責任において個々に対応することが原則とされておりますが、農家負担の軽減あるいは良質堆肥の地域内外への供給促進、さらには地域畜産・農業の振興という観点から市町村・農業協同組合等が処理施設を設置し、管理運営していくことが、これからの畜産環境整備として望ましいものと考えます。

(草地環境整備係 及川 克徳)

<表1>水質(COD) : 科学的酸素要求量

	釜房ダム湖	環境基準
昭和61年度	2.2	1.0mg/1
" 63 "	2.2mg/1	
平成元年度	2.0	

<表2>川崎町の家畜飼養状況(平成2年)

畜種	飼養頭羽数	受益頭羽数	備考
乳用牛	1,190	818	受益頭羽数とは、事業参加農家の飼養頭羽数である。
肉用牛	3,710	2,715	
豚	1,840	1,070	
採卵鶏	141,800	85,000	

<表3>事業概要

事業内容	総事業費 (千円)	負担区分		
		国庫補助	川崎町	その他
堆肥舎23棟 強制発酵処理施設6棟 尿処理施設1棟 機械32台	701,397	350,698	15,507	335,192

※負担区分欄の“その他”は県及び仙台市が出資した湖沼水質保全特別基金により対応



ともに前進 技術のオリオン

酪農家の

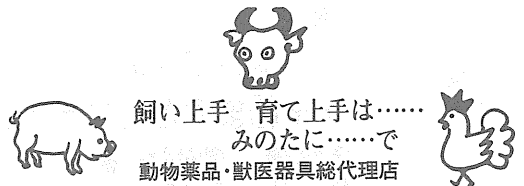
声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。



東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691

宮城営業所 古川市福浦字道の1上106番1号 ☎989-61 TEL古川(0229)23-1631



飼い上手 育て上手は……
みのたに……で

動物薬品・獣医器具総代理店

株式会社 美濃谷

本山店	山形市蔵王成沢字町浦491~2	TEL ☎3121
仙台店	仙台市太白区山田字羽黒堂5番216	TEL ☎4306
鶴岡店	鶴岡市大字布目字東通り57-1	TEL ☎40963

第5回みやぎミルクランドフェアの開催について

宮城県牛乳普及協会

宮城県牛乳普及協会では、一般消費者の方々に牛乳乳製品に対する正しい知識の普及、並びに牛乳乳製品の消費拡大を図る為、補助事業の一環として、関係者各位のご協力により「みやぎミルクランドフェア」を今年度も開催するはこびとなっております。

今回のフェアは、初めて屋外で開催することもある、今までとはまた違った屋外ならではの趣向をこらし会場全体を7つのスペースに分けて、子供からお年寄りまで楽しく参加できるスペースが盛り沢山です。

また、同会場におきまして「みやぎ・農業まつり」も開催されますので、是非皆さんお誘い合せの上、ご来場下さるようお願い申し上げます。

以下、催事内容等についてご紹介申し上げます。

1. 開催期日
平成3年10月26日(土)・27日(日) 2日間
2. 開催場所
仙台市 勾当台公園
3. 主催
宮城県牛乳普及協会
4. 後援
宮城県、農林水産省、畜産振興事業団他
5. 協賛
乳業各社他
6. 実施内容
 - (1) ウェルカムスペース
受付、来場者歓迎スペース
 - (2) グリルスペース
お料理講習会・試食試飲
食べて飲んで身につけるスペース
 - (3) アドベンチャースペース
遊べるスペース
 - (4) PRスペース

- 各種ディスプレイ・たになるスペース
- (5) ファミリースペース
各種コンテスト・ショー・抽選会他
見て楽しんで得するスペース
 - (6) アミューズスペース
娯楽のスペース
 - (7) ショッピングスペース
牛乳乳製品即売・乳製品利用料理の出店
牛乳乳製品にどっぷりつかって得するスペース

※「みやぎ・農業まつり」併催
(高橋 弘美)



ビフィズス菌は
 生きてそのまま腸までとどきます。
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。

ビヒダス®
フレーズン
ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目1番3号
 ☎ (022) 384-5181

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会
 仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688

< 畜試便り >

牧草地におけるムギダニの耕種的防除法の検討

平成元年3月に畜産試験場内の混播牧草地で、県内で初めてムギダニが発見され、同4月に県内の発生状況調査を行っている。

場内のムギダニ発生圃場の収量は無生息圃場に比べて一番草で15~68%の減収、年間では20~37%の減収であった。

ムギダニを防除し牧草の減収を避けるための防除法として、耕種的防除法と薬剤による防除法を実施した。

耕種的防除法は、草地を耕起しムギダニの成虫及び卵を土中に埋没する方法で、

①プラウ耕起+ロータリー耕

②ロータリー耕

の2方法による牧草の更新を平成元年9月29日に実施した。対照区は非耕起とし前草地のまま残した。

平成2年度に、前年度の調査に引続き防除の追跡調査と防除法の検討を行った。

ムギダニ生息数の推移

耕起前の平成元年4月25日にムギダニの生息数を調査(1㎡当たり)したところ4,674匹であった。耕種的防除法を実施後の平成元年11月21日の捕虫調査では対照区で1,187匹の生息数であったが、

①プラウ耕起+ロータリー耕区で33.6匹、

②ロータリー耕区では73.6匹と減少しており

耕起反転によるムギダニ虫卵が土中に埋没され虫卵のふ化発生が抑制されたと推察した。

しかし1年経過後の平成2年11月及び翌年3月に調査したところ、

対照区で1,328匹から8,805匹に増加、

①プラウ耕起+ロータリー耕区で43匹から560匹に、

②ロータリー耕区では138.7匹から1,029匹

とムギダニの生息数は経時的に増加しており、特にロータリー耕区の生息数は草地更新年の11月の水準に戻っていた。

一方、薬剤散布区

(草地更新以前の平成元年3月30日にダイアジノン散布11月にプラウ耕起+ロータリー耕)では、

薬剤散布後は0匹、

草地の更新時14匹と少なかったものの、

翌年3月には939匹、同11月には138匹、

3年目の平成3年3月には629.3匹と耕種的防除法のプラウ耕起+ロータリー耕よりもむしろ増加していた。これは、耕起前1回の薬剤散布だけでは、虫卵まで死滅させることができないことを示しており、成虫が休眠卵を産む前の薬剤散布又は数回の薬剤散布による組合せが必要なることを示唆している。

当試験場でのムギダニ発見の前年(S.63)から平成3年春までの降水不足あるいは冬期間が暖冬で推移したことから、ムギダニの生息条件に適していたこともムギダニの発生・活動が活発になった原因と推察した。

(草地飼料科科長 菅原 正義)

表-1 宮城県におけるムギダニの発生状況
平成元年4月上旬調査

作付体系	発生箇所数	発生面積 (ha)			
		甚	多	小	計
Og主体混播草地	16	4.0	10.8	147.6	162.4
Ir主体混播草地	4	0.02	0.25	5.08	5.35
Ir飼料畑	2			1.2	1.2
Rye飼料畑	3			3.55	3.55
計	25	4.02	11.05	157.43	172.5

注) 甚: 株全体枯れ 多: 葉先褐変 小: 発生がみられる
Og: オーチャードグラス Ir: イタリアンライグラス
Rye: ライムギ

表-2 畜試場内ムギダニ発生圃場の乾燥収量
(10a当たりkg)

圃場名 年次	3-2号			10-2号		
	元年	平均	対比	元年	平均	対比
一番草	235.3	276.3	85	164.7	508.1	32
二番草	190.6	291.9	65	250.0	221.9	113
三番草	112.5	107.1	105	84.7	67.7	125
計	538.7	675.3	80	499.4	797.7	63

注) 平均: 昭61~63年の3ヶ年平均乾燥草収量

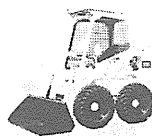
発育促進・食欲増進・栄養補給に

バイミルコ

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

日本全薬工業株式会社

TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社

東北ティールシーエム株式会社

983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
電話 022-259-6351

衛生便り

鶏のサルモネラ感染症について

サルモネラ菌には1,700もの血清型があり人をはじめ種々の動物から分離されますが、鶏では病型によりひな白痢、鶏チフス、鶏パラチフスに大別されています。

ひな白痢は法定伝染病で、幼鶏が感染すると白色下痢を伴い高い死亡率を示します。国内では種鶏の検査による保菌鶏の摘発淘汰が進み、その発生は激減しています。また、鶏チフスは成鶏で高い死亡率を示しますが日本での発生は認められていません。鶏パラチフスは主にブロイラーの幼雛に発生がみられますが、死亡率は低く一般に損耗は数%程度です。しかし、鶏パラチフスを起こすサルモネラ菌は人の食中毒の原因となることから公衆衛生の面からはきわめて重要です。近年、ヨーロッパ諸国やアメリカなどで鶏肉や鶏卵のサルモネラ汚染が拡大しており、日本でも Salmonella enteritidis による食中毒が増加傾向にあります。

幼雛時にサルモネラ菌の感染を受け生き残った鶏はそのまま成長しますが、体内に菌を保菌し糞便を介して周囲を汚染します。また、保菌鶏では卵内にも菌が侵入し、卵の発育停止や孵化後の幼雛に死亡がみられさらに耐過した鶏が感染源となります。

このようにサルモネラの汚染は保菌鶏の存在が大きな問題となるため、サルモネラ汚染のない雛を導入することが必要です。また、サルモネラ菌は自然界に広く分布しており、汚染のない飼料の使用、敷料の適切な廃棄、清掃および消毒の徹底、ネズミなどの駆除といった一般的な衛生対策も重要です。家畜保健衛生所では鶏衛生管理強化特別対策事業のなかでサルモネラの汚染調査を実施し汚染状況の把握に努めています。

消費者に安全な鶏肉や鶏卵を供給するためにもサルモネラ対策は養鶏農家にとってきわめて重要な課題であると思われます。

(仙台家畜保健衛生所 伊藤 敦)

随想

臨死体験

健康で生活出来ることはどんなに素晴らしいことか、健康に恵まれている多くの方には、死の体験談などは、作り話と思われ、理解してもらえないのではないかとと思われるが体験のあらましを回想して見たいと思う。胃潰瘍治癒、20数ヶ月後の昭和41年9月10日、食欲もなく出勤、東北本線岩沼駅から名取駅間で、満腹感と吐き気に耐えられず、名取駅で下車しようと思っていた矢先、目の前が暗くなり、体が軽くなると同時にブラックホールの様な所に吸いこまれ、しばらくして遠くに小さな光が見え、さらに視野が段々と広くなり、花の咲き乱れる花園に心地良い気持ちで1人で立っている姿が現実の世界に思われた。余りにも美しい光景でその場を離れがたかった記憶が今でも残っている。

多くの失神者、重篤患者はこの様な妄想を体験していると思われるが、脳機能の低下、失神回復後の痛みと疲労のため、霊界の体験が夢のように記憶に残らないものと思われる。

ふと気付くと、列車に同乗してた兄が傍におり、大学病院に行こうと言う声が微かに聞えてきた。辺りを見回すと、背広、ズボンも鮮血に染っており、瞬間、現実の世界の判断に迷ったが、失神していた事に気付く、兄と駅員に近くの救急外科病院に行きたい旨、伝えると再び失神し、以後、4日間昏睡状態が続いた。

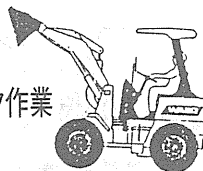
兄の話によると、駅前の医師による治療後、救急車で岩沼市内の芳賀病院に入院、診察台で3回目の吐血、最高血圧60Hgの危篤状態のため、院長先生の呼びかけにより来院者の方々からの輸血と、手術当日には県畜産課並びに家保職員の皆様から4,900ccの輸血と励ましを戴き、一命を取り留めることが出来ました。25年前、お世話になりました皆様から心からお礼申し上げます。

(石巻家畜保健衛生所長 加茂 孝夫)

●● KOMATSU

カンタン操作で、

飼料も堆肥もラクラク作業



宮城小松販売株式会社

仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番代

飼料は  まるきた印

採卵鶏用配合飼料
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

TEL 石巻 0225 (22) 6111
FAX 石巻 0225 (22) 6116